

これまで収集した学校実践事例における今年度の実施状況

平成 20 年から 3 年間で情報収集を行ってきた学校実践事例（小学校 12 事例、中学校 2 事例、高等学校 1 事例）は WEB サイトで紹介しているが、今年度から小学校において新学習指導要領が本格施行となった（中学校：平成 24 年度から、高等学校：平成 25 年度から）ことから、これまで収集した学校実践事例の実施校を対象として、現在の実施状況についてアンケート調査を行い、情報更新を行った。

(1) 同じ内容を継続して実施している事例

対象事例	対象時間	学年
釧路市立鶴野小（H14～H21 実践）	総合 27 時間	4 学年
釧路市立愛国小（H19、20 実践）	総合 40 時間	4 学年
鶴居村立鶴居小（H19 実践）	総合 55 時間	3 学年
鶴居村立下幌呂小（H20、H21 実践）	総合 18 時間（H21）	全校児童
鶴居村立下幌呂小（H19 実践）	総合 25 時間	3, 4 学年合同

《今後の継続実施における課題》

- ・インターネット等で情報を得るだけでなく、実際に行ってみる機会（フィールドワーク）をいかに取り入れていくか。
- ・新学習指導要領の実施に伴って、総合的な学習の時間が削減されているため、今年度実施状況を踏まえて配当時数を含め指導計画の見直しをさらに行っていく必要がある。学習の進捗と学校行事等の関係で、見たいと思った動植物の時期にタイミング良く出かけるよう計画するのに苦慮している。また、ビジターセンターで説明していただける方（ボランティア）が減ってきている（世代交代の時期らしいです）ので、児童の主体的な活動として行っていくと、本校のような人数では、質問をしたり、アドバイスをいただいたりすることが難しかった。（今年度は 1 名）
- ・地域の協力（デントコーン畑の使用）、活動意欲の持続。
- ・温根内ビジターセンターの方との連絡調整を計画的に行っていくこと。
- ・自分達の発見や学びを地域の人に広める活動をしていきたい。

《環境教育ワーキンググループに対しての要望・意見》

- ・児童がわかる湿原のガイドブックがあると助かります。実際に出かけて分かることは大事なことです。下調べをしたり、湿原に行ってきた更に生まれた疑問の解決や思考の資料にしたり出来るものがあると助かります。(児童向けのもの)。
- ・湿原の動植物の写真データがあったらいいと思います。
- ・活動に必要な物資の支援。
- ・最新のデータが知れる方法があるといい。湿原の植物、動物、気候など調べ学習に使う資料や本がもっとほしい。

(2) 一部内容を変更して実施している事例、変更内容

対象事例	対象時間	学年	最終実施年度	変更内容
釧路市立青葉小 (H20 実践)	総合 52 時間	3 学年	H20	総合 35 時間で実施。2 年間継続して行っていた活動を 1 年間に縮小。
釧路市立青葉小 (H21 実践)	総合 91 時間	4 学年	H21	
鶴居村立鶴居小 (H20 実践)	総合 15 時間、 学級レク 3 時間	4 学年	H22	総合 20 時間で実施。グループで 1 本の木を選び、四季を通じてその木の変化を追う活動。
弟子屈町立奥春別小 (H19、H20 実践)	総合 62 時間	全校 児童	H22	総合 56 時間で実施。川下りと魚類層調査は現在行っていない。
標茶町立標茶中 (H19、H20 実践)	総合 35 時間	1 学年	H21	総合 23 時間、技術 3 時間で実施。事前学習の内容の絞り込み(時数減)、チャレンジタイムの調査活動・まとめ活動の縮小。

《変更理由》

- ・子どもの実態として、釧路湿原に目を向ける前段階として、身近な自然(学校周辺)についての学習や、植物の栽培等を行う必要があると判断したため。
- ・ネイチャーガイドさんにアドバイスを頂き、子どもが変化をとらえることにより、自然を見つめ直すことができると思ったから。
- ・町の企画や協賛行事と重ねて行うこともあるため。
- ・新学習指導要領で総合の時間が全体で 50 時間に縮小されたため、本単元についても全体計画を縮小せざるを得ない状況となった。

《今後の継続実施における課題》

- ・教育課程への位置づけ（はじめに内容ありきからではない）

《環境教育ワーキンググループに対しての要望・意見》

- ・ビジターセンター等、各施設では、子ども達の質問に答えて頂いたり、資料や植物、動物の観察に必要なものなどを貸して頂いています。小学生でも見てわかる展示物、DVD などがあると、さらに学習を深めることができるように思います。一般向けのものでは、理解が難しいのが実情です。
- ・平成 23 年度、釧路川のフィールドワークに参加させていただきました。再蛇行によって釧路川が元の姿に戻っていく姿を身近に感じることができました。生徒にも、簡単に参加できるフィールドワークがあるといいです。ウチダザリガニの駆除などを標茶でもできないでしょうか。

(3) 現在は実施していない事例

対象事例	対象時間	学年	最終実施年度
釧路市立光陽小（H18 実践）	総合 93 時間	4 学年	H18
釧路市立幣舞中（H19、H20 実践）	総合 35 時間	1 学年	H20

《実施していない理由》

- ・計画が学校全体の計画として位置付いておらず、指導者の転出により次年度へ引き継がれなかった為。
- ・総合的な学習の時間の年間時数が 50 時間に削減されたことと、キャリア教育に係る内容に移行したため。